

神戸市会議員（中央区）

## 平木ひろみ



## 市会報告

✉ hiromi-hiraki@minshin-kobe.jp  
 URL <http://www.hirakihiromi.com>  
 携帯 090-6208-1313

民進こうべ政策議員団：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

## 会派から市長への予算要望

久元市長2期目初となる来年度の予算編成に向けて、市長に対して、会派としての要望を申し入れました。

人口減少・少子超高齢社会が到来していることを踏まえ、数値目標を示し、見える化を図りながら、総合的な政策をスピード感をもって推進する必要があります。

「神戸2020ビジョン」のテーマである「若者に選ばれるまち」を実現するためには、新しい魅力ある就労先を創造し開拓するとともに、起業やスタートアップへの支援の充実を図ることや、日本一の子育て政策と新しい住宅政策等で、若者を惹きつけることが求められています。

「誰もが活躍するまち」を具現化するためには、超高齢社会に対応した医療・介護・生活支援等の地域包括ケアシステムを早期に構築し、障がい者雇用政策も法定雇用率のアップを鑑みて拡充を図っていくことが重要になります。

さらには、神戸の歴史と文化を大切にしつつ、他都市から見ても魅力あるまちにしていくことも重要であり、文化・スポーツ都市として、スポーツイベントを活かした人材と都市づくりを目指すことが必要です。

## ヘルプマークとは

義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の人、妊娠初期の人など、外見からは分からなくてもその人が周囲の配慮や援助を必要としているということを知らせるためのマークで、今年7月にJISマークに追加され、全国に広がりつつあります。ヘルプマークを身に着けた人を見かけた場合、電車・バス内で席を譲る、困っているようであれば声をかけるなど、思いやりのある行動をとることを呼びかけるものです。



## 大都市税財政特別委員会委員長として国へ要望



大都市には特有の税財政問題があります。国における税財政制度の改正を求めて、毎年、指定都市市長会、指定都市議会議長会とともに、各市議会代表が要望活動を行います。今回は神戸市会の大都市税財政に関する特別委員会の委員長として、要請活動に参加し、進行役を務めました。

急速に進む少子超高齢化を含む社会経済情勢の変化に伴い、社会保障制度や都市機能の充実に加え、多発する災害への防災・減災対策の推進が喫緊の課題となるなど、財政需要は増加の一途で、各市とも行財政改革に取り組んでいるものの、今後の財政運営は極めて厳しい状況です。指定都市は、圏内における中枢都市としての役割があり、複雑・多様化する市民ニーズに的確に応える必要があるため、真に地方が自主的・安定的な財政運営が行えるよう、地方税財源の拡充強化を推進し、新たな時代にふさわしい大都市税財政制度を確立していくことが重要です。

現状では、国・地方間の仕事に応じた「税の配分」は6：4ですが、「税の実質配分」は3：7であり、真の分権型社会の実現のためには、税の抜本的是正が必要になります。実態に即応した財源拡充が求められるところです。

## 2018年もどうぞよろしくお願ひいたします

## ◆総務財政委員会



委員  
藤原 武光

## ◆経済港湾委員会



委員長  
人見 誠



委員  
岩田 よしあき

## ◆文教子ども委員会



委員  
川内 きよなお



委員  
平木 ひろみ

## ◆企業建設委員会



委員  
池田 りんたろう

## ◆福祉環境委員会



委員  
大井 としひろ

## ◆都市防災委員会



副委員長  
永江 一之



委員  
川原田 弘子

# 民進こうべ政策議員団 NEWS

市民福祉の向上と共に、豊かさが実感でき、市民が愛着を持ち、誇れる神戸のまちづくりを ホームページ <http://minshin-kobe.jp/>  
編集・発行/民進こうべ政策議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

第2回定例市会11月議会が開催され、しあわせの村、須磨海浜水族園、六甲山牧場の指定管理者の指定などの一般会計補正予算や議案、副市長の選任などが議決されました。

12月7日、8日の本会議では、市政全般について市長の見解を問う一般質問が行なわれました。

## 一 般 質 問

### 池田りんたろう 議員 (北区)

**Q** 通学環境の改善に向けてスクールバスを運行してはどうか。

**A** まずは既存の公共交通機関をご利用いただきたいと考えているが、通学費援助制度について通学の利便性向上の観点から制度の拡充を検討している。

大沢小・中学校については、現在、バス路線・時間帯等について神姫バスと協議中である。



**Q** 大沢小・中学校における児童生徒の増加に対応した、給食配膳室・保冷庫の増設などを改善されたい。

**A** まずは来年度には湿温蔵庫の増設が必要になると考えている。来年度以降の給食実施に支障がないよう対応策を検討しており、今後具体的な対策を講じていく。

**Q** 大沢小・中学校の児童生徒の増加に対応できるよう、児童館の増床を図られたい。

**A** 今後の児童館の利用状況などの実態を勘案しつつ、関係局で連携し、必要に応じて小学校内の教室などの一時利用等を含め対応していきたい。

**Q** 北鈴蘭台駅前は、朝夕の通勤・通学の送迎で危険な状態にあり、駅前の整備をする必要があると考えるがどうか。

**A** 道路幅員の拡幅、一般車の停車・転回スペース確保等の実現に向けて各事業者と連携して取り組み、駅周辺の円滑な自動車交通、歩行者の安全確保に努める。

**Q** 神戸三田線の有馬口～五社間は冬季の凍結、降雨による通行規制がかかる区間であり、トンネルバイパス整備による事業計画を策定すべきだと考えるがどうか。

**A** 事業中の路線の進捗を見ながらこの区間の事業化を検討する。事業化の際は課題に配慮した構造・ルートとなっているかあらためて検証する。

### 平木ひろみ 議員 (中央区)

#### 1. 神戸の夜の賑わいづくりについて

**Q** 市民も観光客も楽しめる「大人の上質な夜の賑わい」を民間と協力して創出することは、神戸の魅力アップにつながるのではないかと？

**A** 単発イベントだけではなく、「そこに行けば何かが行われている」場所を民間と協力して作りあげていきたい。



#### 2. ヘルプマークについて

**Q** 兵庫県は「譲り合い感謝マーク」があるが、利用対象も厳しく広がりを感じられない。JIS規格で認められたヘルプマークを神戸市としても無料配布してはどうか？

**A** 共通のマークの意義はあると思うが、障がい者施策推進協議会で議論を深めていきたい。

#### 3. DVと児童虐待への支援体制について

**Q** 被害にあった母子を早期に救済しサポートするには、現状の各局連携ではなく、窓口を一元化すべく組織再編を含めて検討すべきではないかと？

**A** 一つの担当局だけで解決することは難しいので、今後も相談しやすい体制づくりを検討していく。

#### 4. 中央区の公共交通について

**Q** 都心である中央区でも南北交通は整備されていない。地域に行政も踏み込んだ支援をすべきではないかと？

**A** 既存バス路線や病院送迎バスなどとの協力を含め、地元アンケートも参考に継続可能な交通を検討する。

**Q** 3空港一体運用によりさらに利用が増えることが予想されるポートライナーの抜本的な輸送力増強を考えなければならない時期ではないかと？

**A** 輸送力増強の必要性はあるが、まずバス利用と並行して対処したい。8両化は慎重に検討したい。